

# I 調査の概要

## 【調査目的】

瀬戸内市が目指す、30年後のまちの姿に対する現在の実感度、今後の施策における重要度や市民の行動、思いを聞き市政運営に役立てるとともに、平成23年度を初年度とする第2次総合計画の数値目標に対する現状値を把握するための基礎資料を得る目的で実施した。

## 【調査対象】

満18歳以上の市民2,000人

## 【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

## 【調査方法】

郵送配布、郵送回収

## 【調査期間】

平成24年5月

## 【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 893件

有効回収率 ----- 44.7%

居住地域の内訳（上段：件数、下段：構成比%）

回収数	牛窓地域			長船地域				
	牛窓	鹿忍	長浜	美和	国府	行幸		
893	164	86	46	32	276	39	88	149
100.0	18.4	9.6	5.2	3.6	30.9	4.4	9.9	16.7

回収数	邑久地域								無回答 (注)
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
418	179	42	59	27	21	19	25	46	35
46.8	20.0	4.7	6.6	3.0	2.4	2.1	2.8	5.2	3.9

(注)無回答には「わからない」を含む

#### 【報告書の見方について】

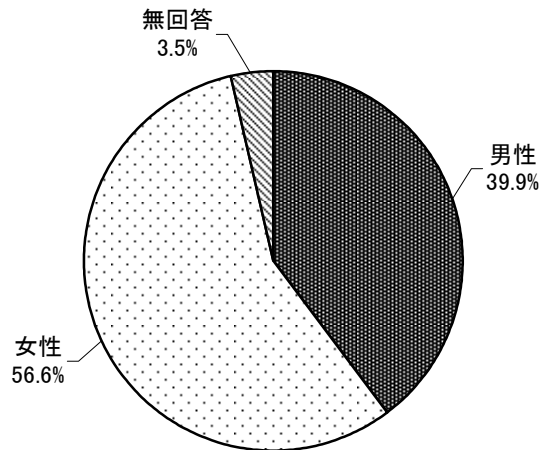
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表, 図表, 文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数<sup>\*</sup>を「n」で標記している。
- (4) 図表中における性別、年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%, 0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (7) 各設問について、平成22年度に実施した同調査(「前回調査」と表記)との比較をおこなっている。
- (8) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における「男性」や「20歳代」・・・など、限定された回答者数

## II 回答者の属性

### 1. 性別

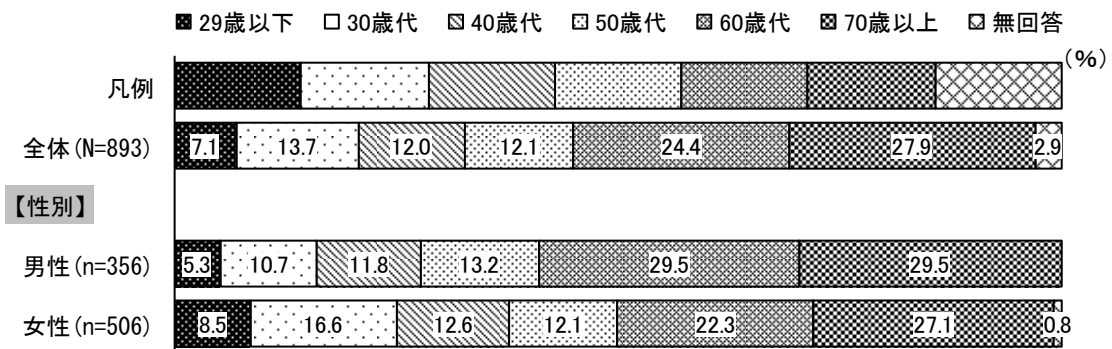
回答者の性別は、「男性」が39.9%、「女性」が56.6%の内訳で、およそ4：6の比率となっている。



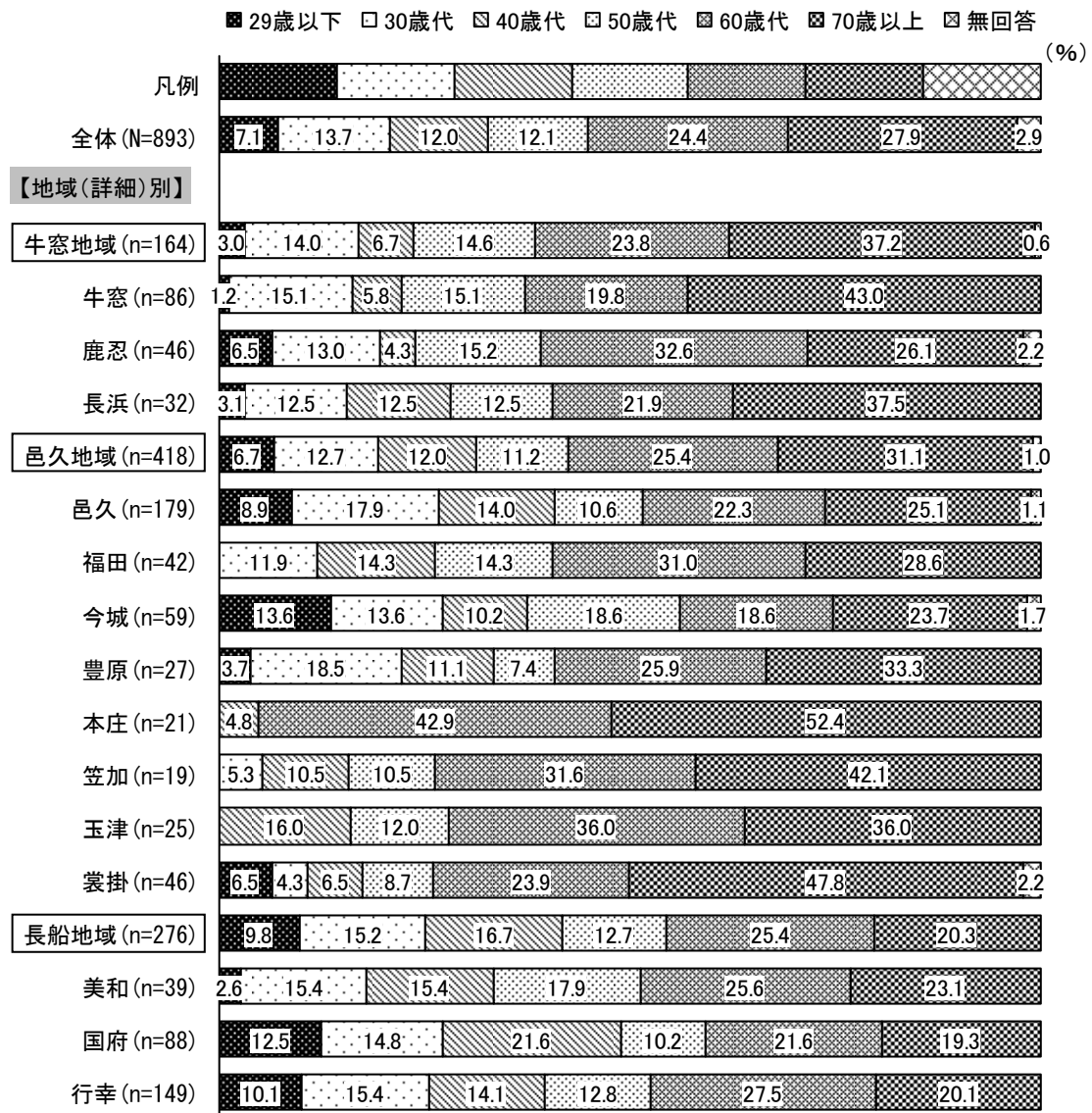
### 2. 年齢

年齢は「70歳以上」が27.9%で最も多く、「60歳代」(24.4%)がそれに続いている。以下「30歳代」(13.7%)、「50歳代」(12.1%)の順で、「50歳以上(合計)」で全体の6割以上(64.4%)を占めている。

性別では、男性は女性に比べ、特に「60歳以上(合計)」の割合が高く、女性は「30歳代以下(合計)」の割合が高くなっている。



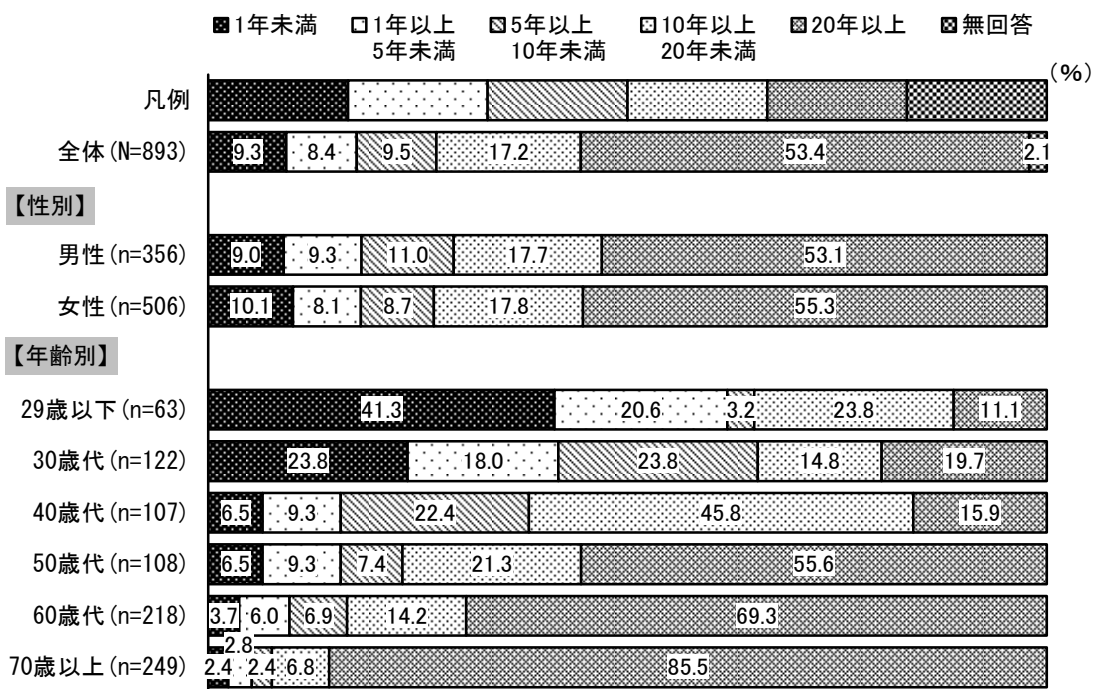
さらに、年齢別構成を地域（詳細）別にみると、牛窓、本庄、笠加、裳掛などで高齢化が目立っており、特に本庄では顕著である。一方、邑久、今城、国府、行幸などでは相対的に若い年齢層が多くみられ、地域差が顕著である。



### 3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体の過半数（53.4%）を占め最も多く、「10年以上 20年未満」が17.2%でそれに続いている。

性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では、29歳以下で他の年齢層に比べ「1年未満」が多く、40歳代では「10年以上 20年未満」が多くなっている。50歳代以上の年齢層ではそれぞれ「20年以上」が5割以上を占め、特に70歳以上では大半を占めているなど、年齢との相関がある。

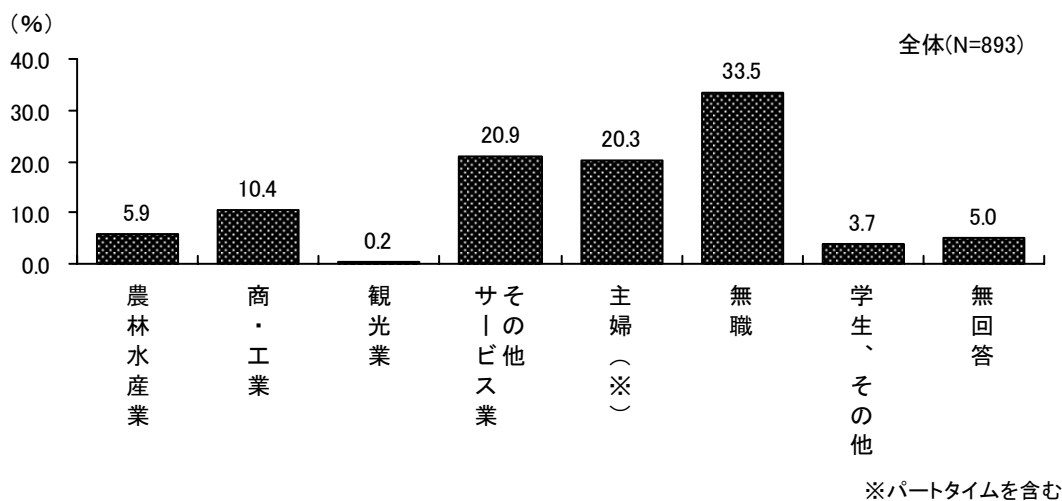


#### 4. 職業

職業は、全体では「無職」が3割(33.5%)を占め最も多く、以下「その他サービス業」(20.9%)、「主婦(パートタイム含む)」(20.3%)、「商・工業」(10.4%)の順となっている。

性別では、男性は「無職」「その他サービス業」「商・工業」で大半を占め、女性は「主婦(パートタイムを含む)」「無職」などが多くなっている。

年齢別では、60歳以上では「無職」が目立ち、29歳以下では他の年齢層に比べ「学生、その他」が多い。



単位 (%)		農林水産業	商・工業	観光業	サその他サービス業	主婦(パートタイムを含む)	無職	学生、その他
全体(N=893)		5.9	10.4	0.2	20.9	20.3	33.5	3.7
性別	男性(n=356)	9.8	21.1	0.3	24.2	0.0	39.0	3.7
	女性(n=506)	3.6	3.6	0.2	19.8	35.4	30.4	3.8
年齢別	29歳以下(n=63)	0.0	19.0	0.0	30.2	27.0	4.8	19.0
	30歳代(n=122)	0.8	13.9	0.0	42.6	33.6	3.3	5.7
	40歳代(n=107)	2.8	23.4	1.9	33.6	29.0	3.7	5.6
	50歳代(n=108)	2.8	15.7	0.0	38.0	24.1	13.0	2.8
	60歳代(n=218)	6.4	7.8	0.0	14.2	23.9	44.5	1.4
	70歳以上(n=249)	12.9	2.0	0.0	2.8	4.4	71.1	0.4

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。  
 (例/性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)  
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目については、網掛けは省略している。  
 また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

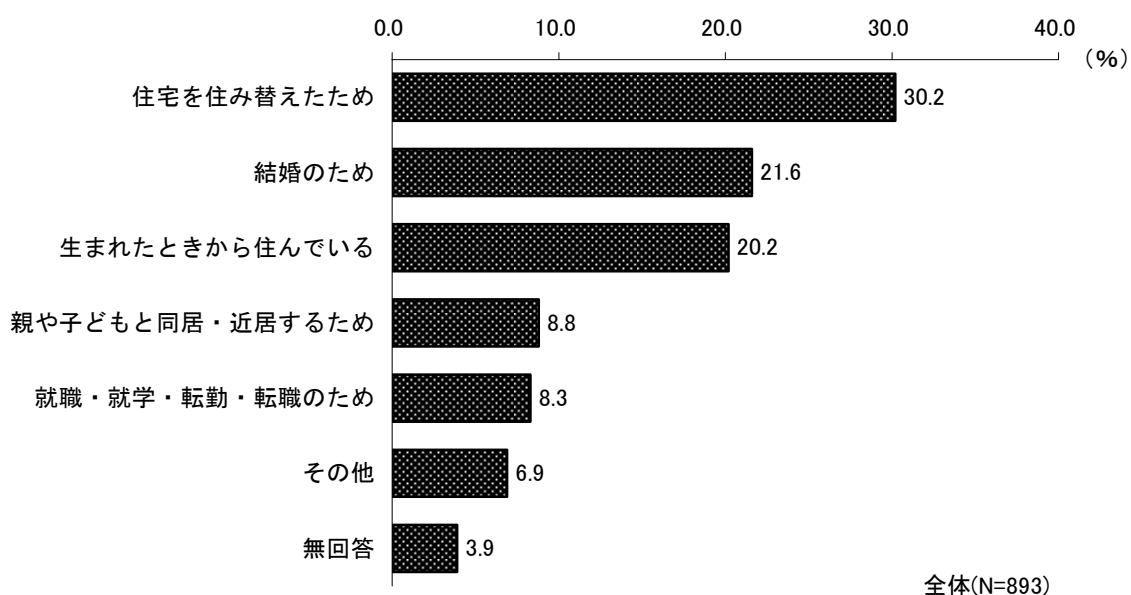
## 5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が30.2%と最も多く、次いで「結婚のため」(21.6%)、「生まれたときから住んでいる」(20.2%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「生まれたときから住んでいる」「就職・就学・転勤・転職のため」が多く、女性は「結婚のため」が多い点で差が目立っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「生まれたときから住んでいる」が多くなる傾向がみられる。

地域別では、牛窓地域において「生まれたときから住んでいる」、邑久地域、長船地域で「住宅を住み替えたため」などがそれぞれ多くなっている。



単位 (%)		住宅を住み替えたため	結婚のため	生まれたときから	親や子どもと同居するため	就職・就学・転勤・転職のため	その他
全体(N=893)		30.2	21.6	20.2	8.8	8.3	6.9
性別	男性(n=356)	31.2	9.3	27.8	8.7	13.5	7.6
	女性(n=506)	30.6	31.0	15.8	8.9	5.1	6.9
年齢別	29歳以下(n=63)	28.6	22.2	11.1	11.1	14.3	7.9
	30歳代(n=122)	32.0	23.8	18.0	14.8	7.4	2.5
	40歳代(n=107)	30.8	24.3	10.3	14.0	14.0	5.6
	50歳代(n=108)	36.1	16.7	20.4	11.1	7.4	4.6
	60歳代(n=218)	39.0	15.1	20.6	6.4	7.8	10.1
	70歳以上(n=249)	21.7	28.1	28.9	4.8	6.4	8.4
地域別	牛窓地域(n=164)	22.0	23.2	28.0	5.5	6.7	14.0
	邑久地域(n=418)	33.0	20.8	22.5	8.9	6.9	5.3
	長船地域(n=276)	32.6	22.8	14.1	12.0	11.6	5.8

## 6. 家族構成

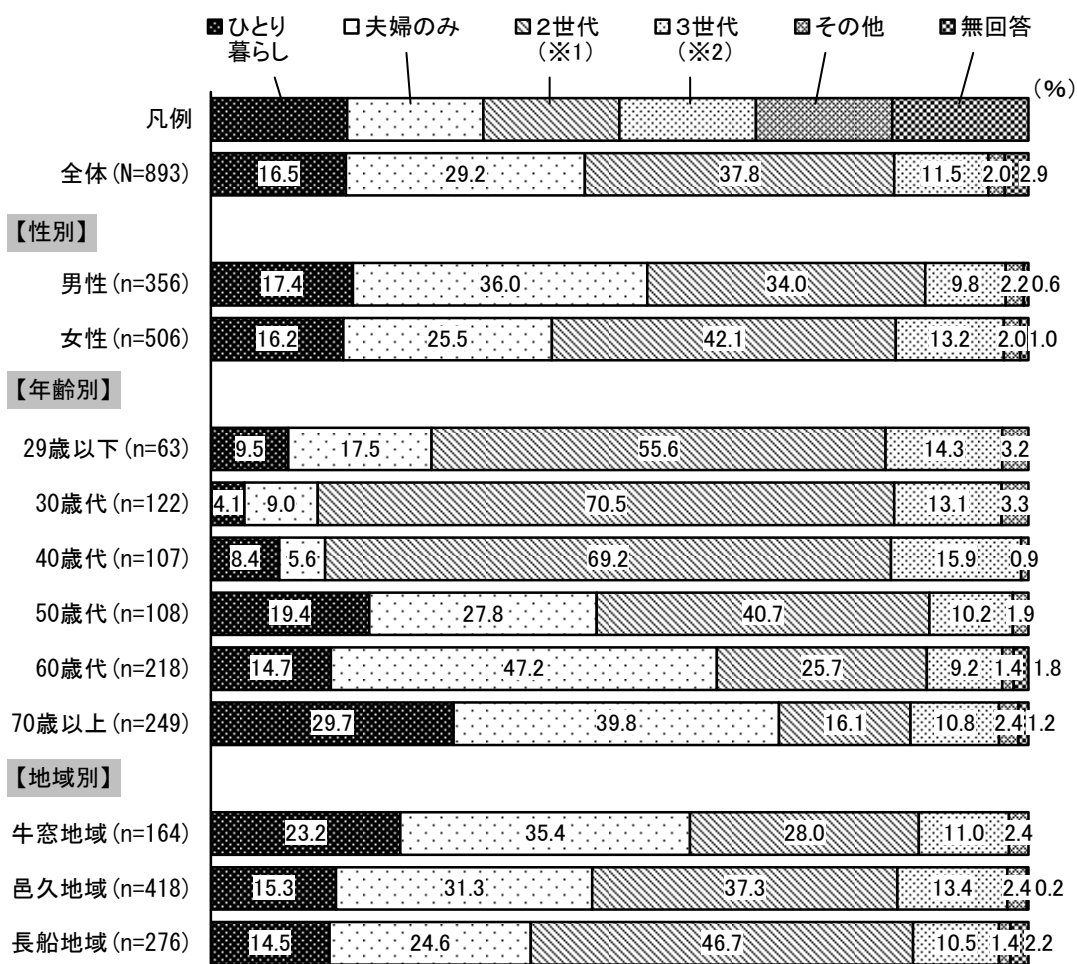
### (1) 家族構成

家族構成については、全体では「2世代（親・子）」が37.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」（29.2%）が続いている。

性別では、男性は「夫婦のみ」、女性は「2世代（親・子）」がそれぞれ多くなっている。

年齢別では年齢が上がるにつれ「ひとり暮らし」「夫婦のみ」が多くなる傾向がみられる。一方で、年齢が若い層ほど「2世代（親・子）」が多くなる傾向がみられる。

地域別では、牛窓地域において「ひとり暮らし」「夫婦のみ」、長船地域で「2世代（親・子）」がそれぞれ他の地域に比べ多いことが目立っている。



※1 親・子  
 ※2 親・子・孫

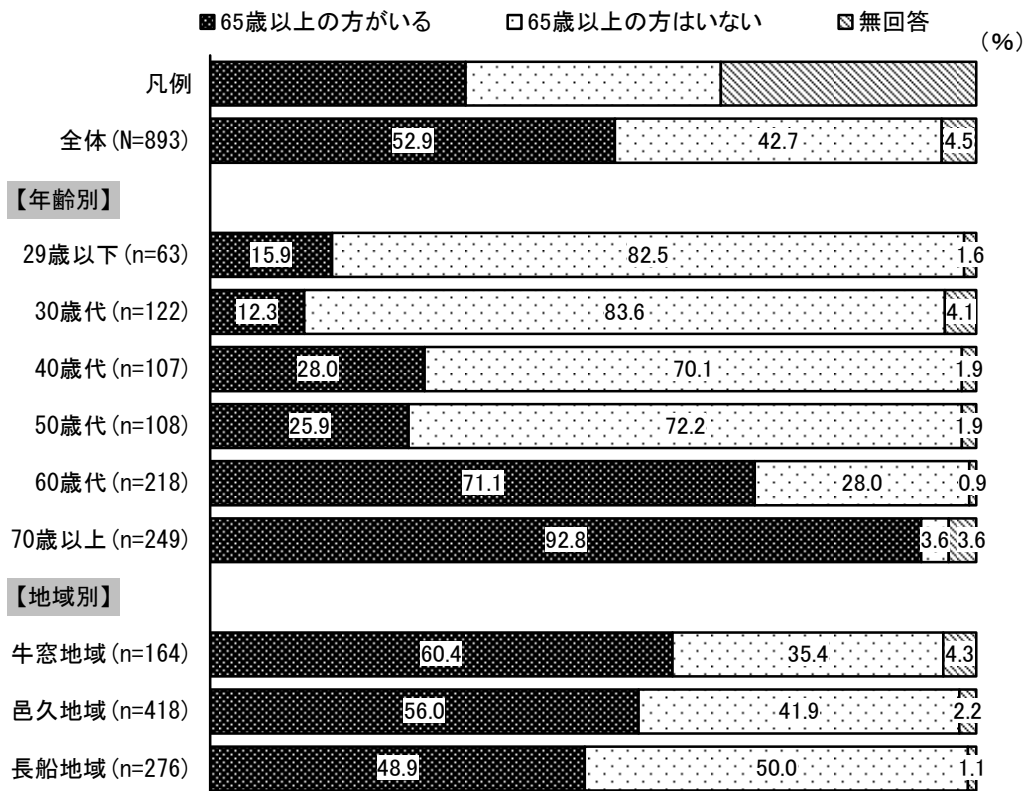


(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無については、52.9%が「いる」と回答している。

年齢別では、50歳代以下の各年齢層において、それぞれ2~3割程度の比率で65歳以上の方が「いる」となっている。

地域別では、牛窓地域において「65歳以上の方がいる」が比較的多くなっている。

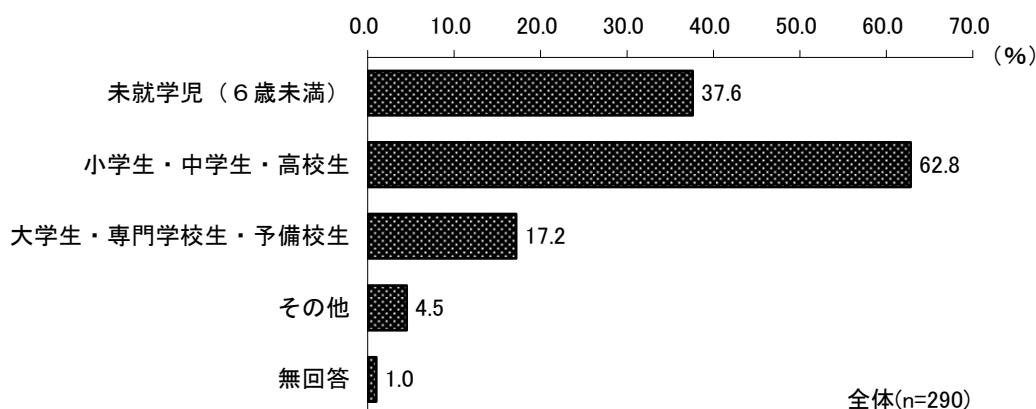
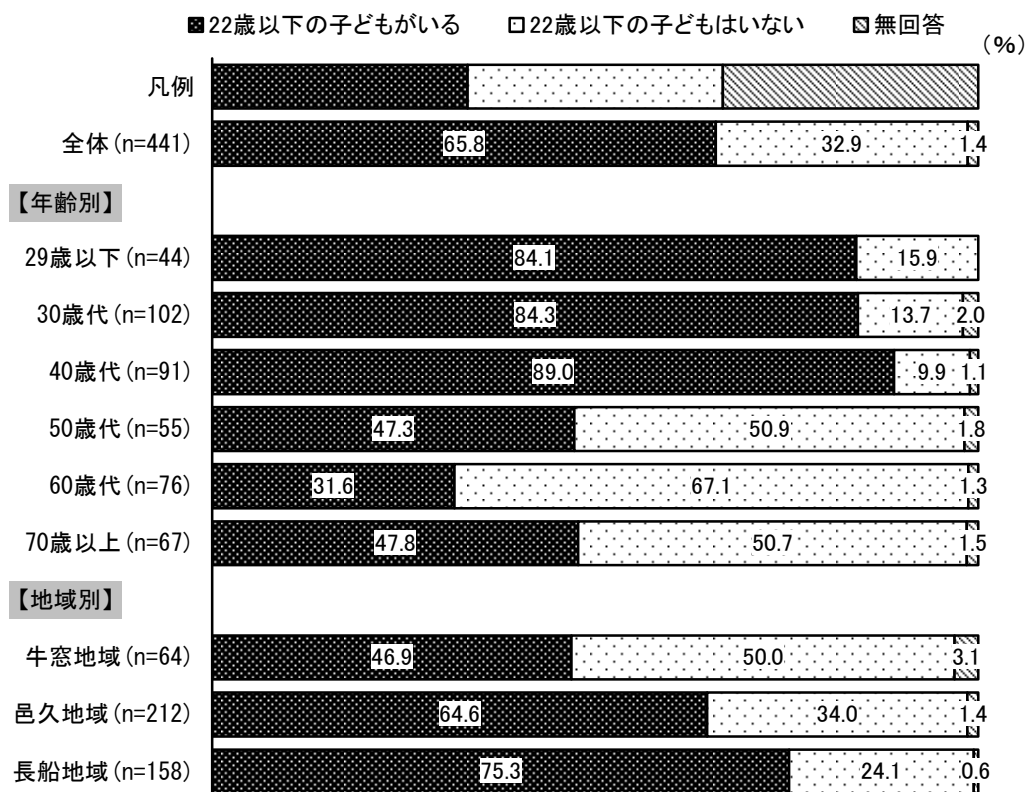


(3) 22歳以下の子どもの同居有無

22歳以下の子どもの同居有無については、65.8%が「いる」と回答している。

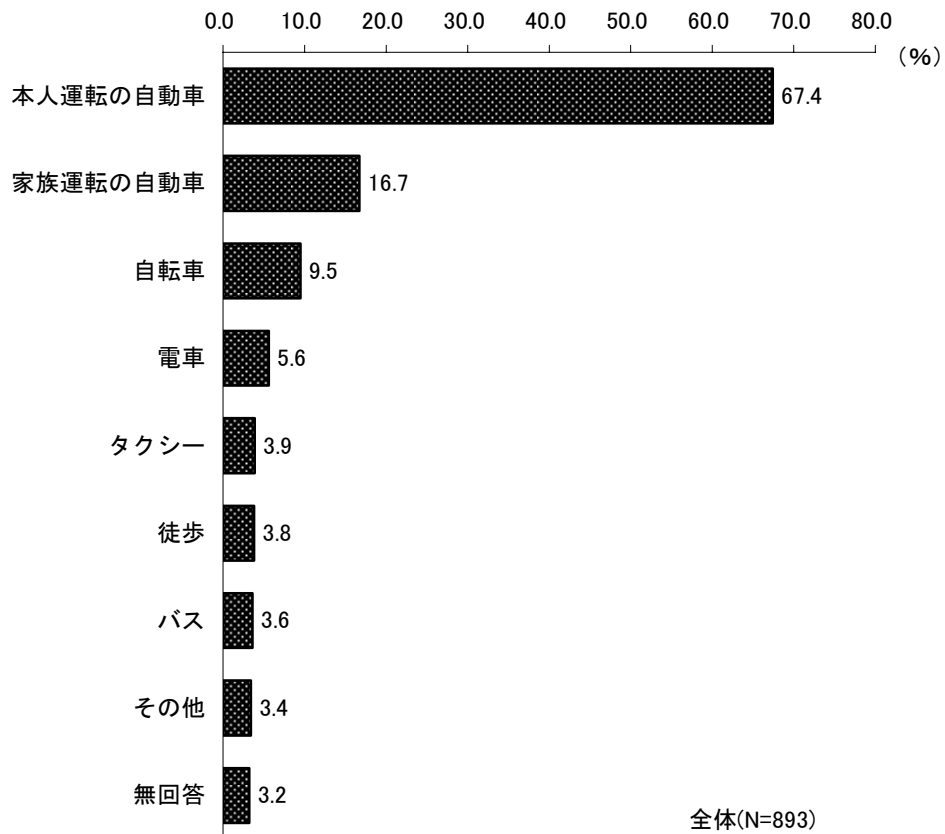
年齢別では40歳代以下の各年齢層において、地域別では邑久地域、長船地域で多くなっている。

22歳以下の子どもは「小学生・中学生・高校生」が主流となっている。



## 7. ふだんの主な交通手段

ふだんの主な交通手段については、全体では「本人運転の自動車」が67.4%と最も多く突出している。次いで「家族運転の自動車」(16.7%)が続き、その他の交通手段については、回答はそれぞれ少ない。



ふだんの主な交通手段について、性別では、男性は「本人運転の自動車」、女性は「家族運転の自動車」がそれぞれ多くなっている。

年齢別では、29歳以下では「電車」、70歳以上では「家族運転の自動車」「バス」などが多くみられる。また、29歳以下と70歳位上では「自転車」も比較的多い。

地域別では、笠加では「家族運転の自動車」、福田では「自転車」、「玉津」では「タクシー」などがそれぞれ他の地域に比べ多くみられる。

単位(%)		本人運転の自動車	家族運転の自動車	自転車	電車	タクシー	徒歩	バス	その他
全体(N=893)		67.4	16.7	9.5	5.6	3.9	3.8	3.6	3.4
性別	男性(n=356)	80.9	9.3	8.1	3.4	2.8	1.7	2.0	2.8
	女性(n=506)	60.9	22.3	10.9	7.5	4.9	5.5	4.9	3.8
年齢別	29歳以下(n=63)	63.5	19.0	14.3	12.7	1.6	4.8	1.6	4.8
	30歳代(n=122)	92.6	8.2	3.3	4.1	0.0	3.3	0.8	1.6
	40歳代(n=107)	88.8	10.3	6.5	3.7	0.9	1.9	0.0	0.9
	50歳代(n=108)	82.4	6.5	7.4	5.6	2.8	3.7	1.9	2.8
	60歳代(n=218)	69.7	20.6	10.1	4.1	1.8	1.8	3.2	0.5
	70歳以上(n=249)	43.4	25.3	13.7	6.8	10.0	6.4	8.4	8.0
地域別	牛窓地域(n=164)	63.4	22.6	3.7	0.0	5.5	3.7	11.0	3.7
	牛窓(n=86)	60.5	24.4	4.7	0.0	7.0	5.8	11.6	5.8
	鹿忍(n=46)	67.4	19.6	4.3	0.0	2.2	2.2	10.9	2.2
	長浜(n=32)	65.6	21.9	0.0	0.0	6.3	0.0	9.4	0.0
	邑久地域(n=418)	67.2	17.5	11.0	6.0	4.3	3.3	2.4	3.8
	邑久(n=179)	68.2	16.2	12.3	6.7	2.2	2.8	0.6	1.7
	福田(n=42)	71.4	16.7	23.8	2.4	2.4	7.1	0.0	0.0
	今城(n=59)	71.2	20.3	6.8	5.1	5.1	0.0	3.4	1.7
	豊原(n=27)	70.4	22.2	18.5	11.1	0.0	7.4	0.0	3.7
	本庄(n=21)	71.4	4.8	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	9.5
	笠加(n=19)	73.7	31.6	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3
	玉津(n=25)	72.0	12.0	4.0	0.0	16.0	4.0	0.0	8.0
	裳掛(n=46)	45.7	19.6	2.2	6.5	13.0	2.2	13.0	13.0
	長船地域(n=276)	75.7	12.7	10.1	7.2	2.5	4.0	1.4	2.9
	美和(n=39)	79.5	12.8	5.1	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6
	国府(n=88)	75.0	10.2	10.2	9.1	2.3	3.4	0.0	4.5
	行幸(n=149)	75.2	14.1	11.4	8.1	2.7	4.7	2.7	2.0